



**ネット式大型罠い
ワナを追加設置**
〈ふれあい推進センター〉

当センターでは、四万十

森林管理署管内の黒尊山
国有林、愛媛森林管理署管
内の滑床山国有林周辺にお
いて、ニホンジカ被害地の
森林再生、植生回復事業に
取り組んでいるところで、
更に対策を推進していくた
めに、平成二三年度から罠
いワナによるニホンジカの
捕獲を実施しているところ
です。

今年度においても当地域
のニホンジカの森林への被
害が継続している状況にあ
ることから、引き続き両
地域でニホンジカの捕獲を

実施します。今年度は、昨
年度より二ヶ月捕獲期間を
長くし、六月に地元の猟友
会と委託契約を行い、来年
三月まで実施することにし
ました。

また、昨年度まで設置し
ていた小型と中型のワナに
加えて、今年度は、高知中
部森林管理署で捕獲実績が
高かった、ネット式の大型
罠いワナを六月に追加設置
しました。

この大型の罠いワナは、
周囲をシカ防護ネットで
囲ったもので、ネットの延
長は、黒尊山が約七〇m、
目黒山が約六〇mであり、
ネットの中が広くニホンジ
カが入りやすい構造となっ
ています。

なお、ここ二年間の捕獲

実績は、平成二三年度が
一一頭、平成二四年度が
二五頭と増加していますが
今回大型の罠いワナを追加
設置したことで、更に捕獲
頭数が増え、森林への被害
が少しでも減少することを
期待しています。



「黒尊山国有林に設置」



**親子サマー
キャンプに協力**
〈徳島森林管理署〉

七月二七日から翌二八日

にかけて、徳島県美馬市木
屋平の中尾山高原にて連合
徳島の主催による「親子サ
マーキャンプ」が開催され
ました。このイベントは徳
島県内の親子連れを対象に
毎年催されており、今年
は総勢九〇名が参加しまし
た。当署からは職員一〇名
が森林教室の講師として支
援を行いました。

開会式では事務局などの
挨拶に続き、当署から森林
・林業の現状や山村地域の
活性化、ニホンジカによる
森林被害などについて話を

しました。

開会式の後、木工クラフ
ト班と遊歩道ウォーキン
グ班に分かれて、それぞれ
でプログラムを実施しまし
た。木工クラフト班には
八一名が参加し、会場の体
育館内で森林の役割などに
ついて話を聞いた後、今回
の課題クラフトである時計
&カレンダーの作製にとり
かかりました。これは板の
半分が時計、残り半分がカ
レンダーとなるもので、作
製難易度の比較的高いクラ
フトですが、家族で協力し
て立派な作品を完成させて
いました。

九名が参加した遊歩道
ウォーキング班は、会場近
隣にある一般向けの展示林
として整備している人工林

オリジナル時計
&カレンダーできあがり



を散策しました。ここにはスギ・ヒノキ・カラマツなどが植栽されており、葉の形の違いや見分け方、遠目から見た時の違いなどを説明すると興味を惹かれてい

き、思ったよりも人の生活圏に近いところに野生動物が生息していることに驚いていました。当署も様々なところで森林教室などを開催し、折に

る様子でした。また、林内にある広葉樹の下で一休みしたときは、「癒やされる」、「涼しい」といった感想が漏れ、リラックアできたようでした。林内にはニホンジカに樹皮をはがされた木があったり、ニホンジカやカモシカのフンもあつたりとそこかしこに動物の痕跡を見ることがで

触れて森林の大切さや国有林のPRなどを行っていますが、今回のように参加者が実際に体験する広報活動の効果の大きさを実感するとともに、更に効果的にPRできるよう森林教室などの機会を上手に使って普及活動が続けていきたいと考えています。

遊歩道ウォーキング
(ニホンジカ被害の箇所)



祖谷のかずら橋の
取り組み
〈徳島森林管理署〉

当署では、徳島県三好市西祖谷にある、国・県指定の重要有形民俗文化財「祖谷のかずら橋」及び同市東祖谷にある「奥祖谷二重かずら橋」の架

な取り組みを実施しています。七月三日には、栗枝渡

国有林内の面積〇.五ha、延長四〇〇mのシカ除けネット補修とシラクチカブラの苗木六〇本にヘキサチューブを設置する作業を実行委員会や地元ボ

け替え用かずらの安定的確保と資源の育成のため、祖谷のかずら橋・架け替え資材確保実行委員会会長と「木の文化を支える森(祖谷のかずら橋・架け替え資材確保の森)づくり」の協定を結び、シラクチカズラ(マタタビ科和名サルナシ)の安定的確保のための様々



シラクチカズラの苗木にヘキサチューブを取り付けているところ

ランティアとともに実施して使用されること、か
 しました。 七月一九日には、西祖 用意した挿し穂約七〇〇
 谷山村の「西祖谷ふれあ 困難になつていていること等 本を挿し木苗として作製
 い公園」において、実行 を説明しました。その後、 しました。一部の挿し木
 委員会一〇名 育てることにしており、 苗は観察のため、学校で
 と、西祖谷中 数年後に育成した苗木は 国
 学校生徒一四 国有林に植え込まれるこ 有林に植え込まれるこ
 名が参加し とになりす。 となりにす。
 て、シラクチ 今回、従来の方法に 今回、従来の方法に
 カズラの挿し 加え、大苗の発根率の向 加え、大苗の発根率の向
 木苗作りを行 上を目指すための新しい 上を目指すための新しい
 いました。 試みの挿し木づくりも実 試みの挿し木づくりも実
 始めに、祖 施しました。 施しました。
 谷のかずら橋 当署としては、今後と 当署としては、今後と
 を見学した 後、挿し木作 後、挿し木作
 りに挑みまし りに挑みまし りに挑みまし
 た。本日の挿 した。本日の挿 した。本日の挿
 し木苗は、将 来かずら橋を 来かずら橋を
 架け替えるた めの資材と



「シラクチカズラの挿し木苗」作製後の参加者の皆様

用意した挿し穂約七〇〇 本を挿し木苗として作製 しました。一部の挿し木 苗は観察のため、学校で 育てることにしており、 数年後に育成した苗木は 国有林に植え込まれるこ とになりす。
 今回、従来の方法に 加え、大苗の発根率の向 上を目指すための新しい 試みの挿し木づくりも実 施しました。
 当署としては、今後と も地域の重要な文化財で ある祖谷のかずら橋を後 世に伝えていくため、国 有林のフィールドや技術 的知見を活かして積極的 に支援していきたいと考 えています。

森林教室
「木工クラフト」を実施
 〈徳島森林管理署〉

七月二五日、徳島市の芝 原児童館で小学生など三一 名を対象とした森林教室 「木工クラフト」を行いま した。子供たちが作製した のは、間伐材を使用した写 真立てとカレンダー、カシ やサクラ材、ドングリを使 用した動物マスコットなど



オリジナルカレンダーと写真立て完成、力作です

の飾りです。 子供たちはまず写真立て と飾り用のマスコットを作 りました。それらができあ がると、木の枝やドングリ などの木の实を使つて、自 分の写真立てを思い思いに 飾り付けていました。真夏 の暑い盛りに実施したため か、マツボックリの種りん 一枚一枚に色づけして花の ようにしたものや、ツバキ の果皮を椰子の木に見立て たものなど、夏つばさが感 じられる飾りが見受けられ ました。
 写真立てが完成すると、 それぞれカレンダーに移行 していましたが、こちらは 日付や月、曜日など一つ一 つを作るため、字を書く色 を一色に統一したり、反対

オリジナルカレンダー作成中



に沢山の色を使ってみたりとそれぞれの子の個性が強く反映されていたように思っています。

今回は実施時間が三時間と長めで、子供たちの集中力が続くかが気がかりだったのですが、ノコギリで枝を好みの長さに

切ったり、いろいろな木の実を貼り合わせて使ったりと、終始楽しそうにクラフトを作製していました。

その成果もあつてか、カラフルに色づけされたカレンダーや飾りが大きすぎて写真が見えない写真立てなど、立派な作品

が沢山できていました。

最近では自分で木を加工して利用することは少なくなりましたが、今回の森林教室がきっかけとなつて、木に興味を持ったり、木を使っていく機会が増えていくことを願っています。

グリーンアドベンチャー & クリーンハイキング く 工石山自然休養林にてく 〈嶺北森林管理署〉

ながら良くする会」四名、高知県一名、四国森林管理局六名、当署から三名参加し、総勢二二名で実施しました。

八月三日、県民の森、市民の森として広く一般の方々に知られている、工石山自然休養林（高知市土佐山高川）で、グリーンアドベンチャー&クリーンハイキングを実施しました。

主催者を代表して松本嶺北署長が、工石山自然休養林の説明や、本日の「グリーンアドベンチャー&クリーンハイキング」が最後まで楽しく、安全で終了するようにとの挨拶がありました。

この催しは、当署と「県民の森工石山を楽しみながら良くする会」が、「国民の森」クリーン月間」の行事として毎年、一般公募で参加者を募り実施しています。

「この木何の木、名前あてゲーム」は、工石山山頂までの間に、一〜二四まで表示した樹木があり、その樹木の名前を当てるものです。最初に、二四本の樹木の名前とその葉の特徴等を詳細に書いた解答用紙を一

般参加者に配布後、登山開始です。



この葉っぱの特徴は、何か

スタッフが講師となり、色々なヒントを与えて二四本用意されている樹木の名前を楽しく解き明かしていきます。参加者の小学生は、スタッフが、樹木の葉を数枚とってあげると、じっくり観察してスタッフのヒントから、一本、一本名前が書いてある解答用紙に、

番号を記入して、「次はま
だ？」と、楽しそうに催
促していました。普段の
登山より、ゆったりとし
た早さでしたが、工石山
山頂には予定のお昼時間
に到着しました。
山頂からの下山では、高
知市の水瓶であり、鏡川の
源流点である、「サイの河
原」で、普段はなかなか、
姿を見せてくれない「オオ
ダイガハラサンショウウ
オ」も見ることができまし
た。その後、ヒノキ屏風岩
から高知市方面を眺望して
下山しました。

グリーンアドベンチャー&
クリーンハイキングの参加者



スには、ゴミが見当たら
ず、気持ち良く、無事に
終了いたしました。今後
も、このイベントを「県民
の森工石山を楽しみながら
良くする会」等関係者の皆
様や、より多くの県民の方
の協力を得て実施して行き
たいと思います。

「発電所見学と 親子木工教室」 〈安芸森林管理署〉

七月二十八日、四国電力
(株)安芸支店と共催で「発
電所見学と親子木工教室」
を実施しました。この企
画は毎年恒例となってお
り、水力発電所の見学及
び木工教室をとおして、日
頃利用している水や電気の
大切さと、水の源である森
林について学習し、環境保
全への理解を深めようと
いうもので、今回は小学生
の親子二〇人が参加しま
した。
午前中は伊尾木川水力
発電所を見学、午後から
は安芸森林管理署会議室

において木工教室を開催
しました。始めに森林の
「緑のダム」と言われる水
源涵養機能について、森
林には水を蓄えきれいに
する機能があり、普段使っ
ている水が森林の恵みで
できていることを説明し
ました。

その後、間伐材を使った、
鉛筆立て、壁掛け、本棚の
製作を行いました。子供た
ちは最初、組み立て作業に
苦労していましたが、保護
者と協力しながら作業を進
めて行くうちに、どんどん
上達していきました。また、
組み立てた木工品に木の枝
や実、パーツなどを使用し
子供らしい飾り付けを楽し
んでいました。
始めのうちは子どもたち

も遠慮がちでしたが、最後
には「また来年も参加した
い」「楽しかった」等の意
見も聞かれました。
木工を通じて物づくり
の楽しさや、森林に対す
る興味や関心を持っても
らうため、今後も継続し
て実施していきたいと思
います。



親子木工教室